

vol.

118

2024

11/22 発行



いちのへ社協だより

ゆいっこ



CONTENTS

めおと長寿祝 2024	2 ~ 3	社協からのお知らせ	7
できごとフラッシュ	4 ~ 5	Topics	8
岩手県社会福祉大会表彰・いちボラレポート	6		

題号 "ゆいっこ" は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。

めおと長寿祝



一戸町社会福祉協議会では、ご自宅で健康に暮らす78歳以上のご夫婦を対象に、記念品(記念写真又は商品券)を贈呈しています。

今年度は総勢33組のご夫婦に贈呈させていただきました。その中で記念写真撮影をされたご夫婦をご紹介します。 ※順不同で掲載させていただきますのでご了承ください。



旧中山・釜石 釜石 清次郎様(83歳) ミヤ様(78歳)



稲荷・中村・道地・駒木 居也 義己様(79歳) 雪子様(78歳)



中道・永代町 小野寺 善一様(79歳) 千鶴子様(78歳)



月館稲荷 館下 清一様(83歳) タケ様(78歳)



奥中山 2.3 高橋 勉様(80歳) 京子様(78歳)



奥中山 2.3 遠山 政己様(83歳) イネ子様(78歳)

めおとご夫婦にインタビュー!

- ① 若い時のご職業
- ② お二人の出会い
- ③ 思い出
- ④ お互いへメッセージ



野里・中屋敷 安木 征次郎様(80歳) 啓子様(78歳)

- ① **征次郎** 一野辺パンに40年ほど定年まで勤めていました。販売営業のため県内外いろんなところを回りました。
啓子 小鳥谷保育所(現小鳥谷ふじの花こども園)で調理担当として働いていました。
- ② **征次郎** 共通の友人がおり、紹介されたのが始まりです。
- ③ **征次郎** 12年前に2泊3日で行った石垣島旅行です。初めての夫婦水入らずの旅行でした。
啓子 友達とはたくさん旅行へ行きましたが、夫婦では初めて遠出をしました。天候にも恵まれましたし、海が本当に綺麗でした。
- ④ **征次郎** 仕事も趣味も好きのようにさせてもらってありがたいです。
啓子 たくさん働いているので、身体にも心にも余裕をもってゆったりと過ごしてほしいです。健康で仲良く暮らしていきたいですね。



宇別 西館 松雄様(83歳) トシ子様(78歳)

- ① **松雄** 出稼ぎで木切りをした後、30歳からはずっと農作業をしています。雑穀や乳牛、和牛、たばこ等様々手がけました。
トシ子 夫婦いっしょに農作業をしています。辞めてしまったものもありますが、今も田んぼと野菜は続けていますよ。
- ② **松雄** 青年会のダンス交流会で出会いました。
- ③ **松雄** 北海道から九州までいろんな場所へ旅行にいきました。思い出がありすぎて選ぶことが出来ません。
トシ子 九州に長女が住んでいるので、旅行も兼ねて家族みんなで会いに行ったことです。今は孫たちと一緒に暮らせていることが幸せです。
- ④ **松雄** 健康で長生きをして、一緒にゲートボールを楽しみましょう!
トシ子 あまり飲みすぎないようにね!



互いに声をかけ合える地域づくりを 認知症見守り声かけ訓練

10月15日、町立鳥海小学校(吉田幹伸校長)を会場に認知症見守り声かけ訓練を実施しました。この訓練は、「もしも大切な人が行方不明になったら」等の万が一に備えて、関係機関との連携の仕方を学ぶことと日頃から互いに声をかけ合える地域づくりを進めることを目的としたものです。

当日は鳥海小学校の全校児童16名と保護者、地域の消防団や民生委員、老人クラブ等が参加し、警察や消防による講義を参考に屋外の声かけ訓練に臨みました。意見交換では、参加した児童から「緊張したが警察に上手く情報を伝えられた」等と感想が述べられました。

1 助けを必要としている人がいることを警察に伝える鳥海小学校の児童。

2 児童と地域住民、関係機関を交えて行った意見交換会。



さらに健康長寿を祈って 100歳長寿祝記念品贈呈

一戸町では今年度10名の方が100歳を迎えられ、一戸町より年金と記念品、本会より記念品が贈呈されました。ご家族や施設関係者の方々のご協力を頂き、お祝いの催し物が開催されました。

対象となった方のこれまでの地域貢献と長寿に敬意の念を表しながら、今後もますますのご健康をお祈り申し上げます。

1 9月20日、本会大道正樹会長より記念品贈呈をうける土石カツノ様。

2 9月25日、施設にてご家族と共にお祝いをする柴田オワリ様。

3 10月8日、入所する施設でご家族に囲まれてお祝いを受ける穴久保キミエ様。

学ぼう社会福祉協議会の仕事 一戸中学校3年生職場体験学習



いちボラ+で郷土料理教室に加わる一戸中学校の生徒。

9月25日～26日、町立一戸中学校(五十嵐智校長)の3年生の生徒4名は、町社会福祉協議会で職場体験学習を行いました。

地域の介護予防教室やサロン活動、ボランティア活動拠点いちボラ+(プラス)等地域住民とコミュニケーションをとる仕事を体験してもらいました。一般的に介護や子育てのイメージが強い福祉分野ですが、「地域福祉」をすすめる社会福祉協議会の仕事について理解を深める機会となりました。

みんなで認知症について考えよう! いちのへオレンジ月間2024



一戸病院認知症疾患医療センターの職員によるミニ講話に耳を傾けるオレンジカフェさくらの会の参加者。

本会は9月を「いちのへオレンジ月間2024」とし、町内関係機関と協働で認知症にまつわる様々な取り組みを実施しました。

県立一戸病院では、院内に設置されている認知症疾患医療センターや重度認知症デイケアわく夢を紹介する企画展示、オレンジカフェさくらの会による認知症カフェが病院内で開催される等、地域住民だけでなく病院関係者も多数参加しミニ講話や軽体操、紙芝居やカフェタイム等を楽しみました。

見て触れて深まる秋 小鳥谷ふじの花こども園遠足



サラダボウルこずやでハロウィーンのかぼちゃに触れる小鳥谷ふじの花こども園の園児たち。

小鳥谷ふじの花こども園では、10月15日、年長から年少までの計11名の園児がこども園からサラダボウルこずやまで遠足に出かけました。

秋の自然を存分に感じながらゆっくりと歩き、サラダボウルではハロウィーンのカボチャを見たり触ったりして楽しみました。途中電車が走ってきたところに手を振ると、汽笛が鳴り響き大喜びでした。サラダボウルこずやでお弁当を食べ、お腹も心も満たされる遠足になりました。

奥中山の自然を歩いて体感 奥中山学童クラブ 秋の遠足



秋晴れの下、遊具で元気に遊ぶ奥中山学童クラブの児童。

奥中山学童クラブは、10月21日、こどもの森へ遠足に出かけました。学童クラブからこどもの森まで片道5.7kmを、1～6年生までの児童29名で歩きました。

当日は少し西岳の風が冷たく感じられましたが、晴天に恵まれ清々しく歩き切ることができました。途中遊具ひろばで遊び、昼食は奥中山高原センターハウスでカレーを食べました。こどもの森に到着後は、妖怪スタンプラリーや室内外の遊具で体を動かして充実した1日を過ごしました。

令和7年度地域福祉活動助成金制度のお知らせ

各地域において、世代交流や地域福祉事業を行うために必要な活動費や機器等整備費を助成し地域活動を支援します。

【ゆいっこ活動資金助成事業】

助成対象：町内の町内会、公民館、ボランティア団体、住民による自主団体、小中学校等

助成対象事業：見守りや訪問、生活支援活動、ボランティア活動、奉仕作業、世代交流等

助成金額：総事業費の80%以内、年間上限5万円(1団体につき最大3年間助成可能)

申請方法：問い合わせ先窓口へ電話又は来庁後、書類により申請(書類は郵送、または問合せ先HPよりダウンロード可能)

申請締切：令和7年2月7日(金) 問い合わせ：一戸町社会福祉協議会(TEL 0195-33-3385)

【一戸町社会福祉基金福祉活動及び施設整備助成事業】

助成対象：町内の社会福祉法人、公益法人(一般財団法人及び一般社団法人含む)、特定非営利活動法人、住民による自主団体等

助成対象事業：福祉施設を拠点とする活動、法人や団体が行う福祉活動、福祉活動に必要な機材等の整備や施設の修繕等

助成金額：総事業費の90%以内、上限150万円(令和7年度助成総額は380万円を予定)

申請方法：問い合わせ先窓口へ電話又は来庁後、書類により申請(書類は郵送、または問い合わせ先HPよりダウンロード可能)

申請締切：令和7年2月7日(金) 問い合わせ：一戸町社会福祉基金事務局(一戸町社会福祉協議会内 TEL 0195-33-3385)

令和7年度一戸町社会福祉協議会職員(一般事務、保育士)の募集について

一戸町社会福祉協議会では、令和7年度採用職員(一般事務、保育士)を募集します。

【一般事務兼生活支援コーディネーター(臨時職員)】

採用人数：1名

募集資格等：学歴、年齢不問。福祉関係職の業務経験や学歴、福祉関係資格があれば尚可。

給与：150,000円～(各加算有)

【保育士(正職員)】

採用人数：1名

募集資格等：専門学校、短期大学、大学のいずれかを卒業した者。(令和7年3月卒業見込みを含む。)保育士資格(幼稚園教諭免許尚可)を有する者または受験資格を有する者。

給与：169,000円～(各加算有)

募集期間：令和6年10月10日(木)～ 随時

申請方法：必要書類(応募申込書、紹介状、資格証明書等)を、問い合わせ先までご提出ください。詳しくは、本会ホームページをご覧ください。または直接問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ：一戸町社会福祉協議会(TEL 0195-33-3385)

表紙の紹介



認知症見守り声掛け訓練の様子。屋外での声かけ訓練に向け、意気込む鳥海小学校の児童のみなさん。(本誌p5参照) 鳥海小学校の児童と地域の方が一体となって訓練に取り組みました。

令和6年度傾聴ボランティア活動のご案内

一戸町傾聴ボランティアでは、悩んでいる方の話を聞き、少しでも気持ちを和らげて頂くための傾聴活動を行っています。相談で知り得た個人情報等は秘密厳守いたします。日ごろ悩みを抱えている方や話す場が欲しい方、ぜひお気軽にご参加ください。また、偶数月は弾き語りミニコンサートも行います。

日時：毎月第3水曜日10:30～12:00

(12/18、2/19は11:20～ミニコンサートを行います。)

場所：いちボラ+ (旧一戸幼稚園、一戸町西法寺字稲荷21-18)

問い合わせ：一戸町健康子ども課(TEL 0195-32-3700)

高齢者生きがい通所サービス(いきいきサービス)のご案内

本会では一戸町民生児童委員協議会とともに、高齢者の健康づくり等を目的として標記事業を実施しています。利用を希望される方は、下記までお問い合わせください。



対象者：町内にお住いの65歳以上のひとり暮らしの方、日中ひとり暮らしの方、65歳以上の夫婦のみの世帯の方

利用日時：1人あたり月2回(お住まいの地域によって利用できる曜日は異なります。)

各回とも9:30～14:00まで

場所：来田保養センター(送迎あり)

料金：1人1回700円(入浴料、昼食代込み)

内容：健康相談、血圧測定、入浴、食事、レクリエーション等

問い合わせ：一戸町社会福祉協議会(TEL 0195-33-3385) またはお住まいの地域の担当民生委員

岩手県社会福祉大会各種表彰 表彰式レポート

岩手県社会福祉大会

11月13日、トーサイクラシックホール岩手にて岩手県社会福祉大会が開催され、一戸町からは、表彰対象者のうち6名が会場での授賞式に参加しました。

受賞された皆様のこれまでのご活躍に敬意を表するとともに、今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。おめでとうございます。

【表彰対象者(敬称略)】

岩手県社会福祉大会長表彰

★ 永年勤続功労者(7名)

浅沼 俊一	(福)カナンの園	生活支援センター	部長兼センター長
猪又 平	(福)カナンの園	生活支援センター	副センター長
釜石 登	(福)カナンの園	カナン牧場	副所長
堀内 タエ子	(福)カナンの園	生活支援センター	支援員
須田川 薫	(福)カナンの園	生活支援センター	支援員
荒谷 るみ子	(福)岩手県社会福祉事業団	共同生活事業所「中山の園」	生活支援員
立花 陽一	(福)岩手県社会福祉事業団	つつじ	生活支援員

岩手県民生委員児童委員協議会長表彰

★ 永年勤続民生委員・児童委員(6名)

田村 みえ子
荒屋敷 和子
中村 育子
三合堂 桂子
家子 美奈子
大欠 まり子



岩手県社会福祉大会で表彰された民生児童委員の皆さん

++++

いちボラレポート



10月25日、蒸しパン作りとダンボール紙を使ったふくろうの小物づくりを行いました。

イベントは15名が参加し、蒸しパンの待ち時間に丸めたダンボール紙を組み立てて思い思いのクラフトふくろうを作り上げました。完成後は、出来上がった蒸しパンをおいしくいただきながら交流を深めました。

アクセス

岩手県二戸郡一戸町西法寺字稲荷21-18 (旧一戸幼稚園内)

Open 月・水・金曜日 10:00～16:00

Close 火・木・土・日曜日(祝日・年末年始)

- ・IGRいわて銀河鉄道「一戸駅」から徒歩5分
- ・お車でお越しの方は、向かい側の町営駐車場をご利用ください。



問い合わせ先

一戸町社会福祉協議会
TEL 0195-33-3385



Instagram

各種相談日程表

	法律相談	多重債務相談	あすいろ（自立相談支援機関）	ふれあい相談
開催日	12月10日(火) 12月24日(火)	12月17日(火)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・年末年始休み)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・年末年始休み)
	令和7年1月14日(火) 1月28日(火)	令和7年 1月21日(火)		
	令和7年2月10日(火) 2月25日(火)	令和7年 2月18日(火)		
時間	10:00～15:00	10:00～15:00	8:30～17:00	8:30～17:15
場所	二戸消費生活センター (二戸合同庁舎内) TEL 0195-23-5800※要予約		One Dishあすいろ TEL 0195-43-3525	一戸町社会福祉協議会 (一戸町総合保健福祉センター内) TEL 0195-33-3385

災害義援金募集のお知らせ

社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を次の通り受付しております。頂いた義援金は岩手県共同募金や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々へ届けられます。皆さまのご協力をお願いいたします。

- ・令和6年能登半島地震災害義援金
石川県支部：令和7年12月26日(金)まで
富山県支部：令和6年12月27日(金)まで
- ・令和6年度秋田県・山形県大雨災害義援金
令和6年12月27日(金)まで

その他、各種国外義援金、救援金についても受付しております。一戸町社会福祉協議会（TEL 0195-33-3385）までお問い合わせください。

読者プレゼント

本誌への感想や当協議会への意見など、アンケートに答えていただいた方の中から抽選で3名の方に一戸町の特産品(1,000円相当)をプレゼントします。

応募を希望される方は、①住所②氏名③年齢④電話番号⑤本誌への感想や当協議会に対する意見などを明記の上、はがきまたはメールにて編集係までお送りください。発表は、発送をもって代えさせていただきます。

寄付御礼 (令和6年9月～令和6年10月取扱分)

社会福祉協議会への寄付

- ◆奥中山読書会北の風様
金 5,000円 也

一戸町社会福祉基金への寄付

- ◆一岩会様
金 30,000円 也



奥中山読書会北の風様

頂きましたご寄付は、地域福祉事業の推進のため使用させていただきます。ありがとうございました。



応募方法

- ▶はがき
〒028-5312 一戸町一戸字砂森93-2
一戸町社会福祉協議会「広報ゆいっこ編集係」
- ▶メール
ichinohe-shakyo@themis.ocn.ne.jp



編集後記

長かった夏が過ぎ、田畑の様子や服装の移ろいから秋の訪れが感じられます。体調管理にますます気を配りたいですね。今回のめおと長寿祝（本誌p2-3）写真撮影は和やかに進み、インタビューでは出会った頃の思い出や日ごろの様子など様々なお話を聞かせて頂きました。ご夫婦の素敵な思い出の1ページにご一緒できて嬉しいです。めおと写真や記事について、皆様のご感想をぜひお聞かせください。（高橋）

社会福祉法人 一戸町社会福祉協議会

〒028-5312 一戸町一戸字砂森93-2
(一戸町総合保健福祉センター内)
TEL 0195-33-3385
FAX 0195-33-2737
ホームページ
<https://ichinohe-shakyo.jp/>

